

サウンド・通知に関する設定

↓ サウンド・通知に関する設定

サウンド・通知に関する設定


マナーモードの設定や着信音、操作音などに関する設定ができます。設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
音量	着信音や操作音などの音量を設定します。
マナーモード	マナーモードを設定します。
着信音	着信音の設定をします。 詳しくは、「 着信時の動作を変更する 」を参照してください。
着信時パイプ	着信時パイプのON/OFFの設定をします。
パイプパターン	パイプパターンの設定をします。
着信LED	着信LEDの設定をします。 詳しくは、「 着信時の動作を変更する 」を参照してください。
通知音	メール着信音の設定をします。 詳しくは、「 着信時の動作を変更する 」を参照してください。
お知らせLED	メール着信や通知があったときに着信LEDを点滅させるかどうかの設定をします。
その他の音	キー操作音やオープン・クローズ音などを設定します。

1

■ ➡ 設定 ➡ サウンド・通知




 サウンド・通知画面が表示されます。

2








各項目を設定



 設定が完了します。


サウンド・通知利用時の操作

着信音や操作音などの音量を設定する

サウンド・通知画面で **音量**  項目を選択     で音量を選択  

- マナーモード設定時はモードによって音量を変更できない項目があります。

マナーモードを設定する

サウンド・通知画面で **マナーモード**  **マナーモード** / **サイレントモード** / **ドライブモード**

- **OFF**を選択すると、マナーモードは設定されません。

メールや通知が届いたときに着信LEDを点滅させるかどうかを設定する

サウンド・通知画面で **お知らせLED**

- **お知らせLED**と操作するたびに、選択() / 解除()が切り替わります。

キー操作音やオープン・クローズ音などを鳴らすかどうかを設定する

サウンド・通知画面で **その他の音**  項目を選択  

- 項目を選択   と操作するたびに、選択() / 解除()が切り替わります。

ロック・セキュリティに関する設定

↓ [ロック・セキュリティに関する設定](#)

ロック・セキュリティに関する設定

画面ロックや暗証番号など、セキュリティに関する機能を設定できます。設定できる項目は次のとおりです。


項目	説明
操作用暗証番号設定	アプリや各機能を利用するときの操作用暗証番号を設定します。 詳しくは、「 操作用暗証番号を設定する 」を参照してください。
画面ロック	画面ロック解除方法を設定します。 詳しくは、「 本機の使用を禁止する(画面ロック) 」を参照してください。
ロック画面の設定 ¹	自動ロック、とじるとロック、画面ロック中通知、ロック画面メッセージを設定します。
機能別ロック	機能ごとに制限をかけて利用できないように設定できます。 詳しくは、「 機能の利用を制限する(機能別ロック) 」を参照してください。
利用制限	電話帳登録外の連絡先への発着信やPCメールアカウントの設定の変更を制限します。
パスワードの表示	パスワード入力時に文字を表示するかどうかを設定します。
端末管理アプリ	端末管理アプリを設定します。
SIM カードロック	SIM カードロックを設定します。
暗号化と認証情報	本機/SDカードの暗号化や認証情報などを設定します。
信頼できるエージェント	信頼できるエージェントを管理します。
画面の固定	特定のアプリの画面を固定して表示するように設定します。
使用履歴にアクセスできるアプリ	使用履歴にアクセスできるアプリを設定します。

11 画面ロック設定時に表示されます。

1

■ [設定](#) ➔ [ロック・セキュリティ](#)




 ロック・セキュリティ画面が表示されます。

2






各項目を設定



 設定が完了します。

ロック・セキュリティ利用時の操作

利用制限を設定する

ロック・セキュリティ画面で**利用制限**  項目を選択   (編集)  操作暗証番号を入力  各項目を設定



パスワードを表示するかどうかを設定する

ロック・セキュリティ画面で**パスワードの表示**

- **パスワードの表示**と操作するたびに、選択() / 解除() が切り替わります。

アプリケーションの端末管理者を有効にするかどうかを設定する

ロック・セキュリティ画面で**端末管理アプリ**  アプリを選択  (表示)  **この端末管理アプリを有効にする**

- 各アプリを選択   **この端末管理アプリを有効にする** / **この端末管理アプリを無効にする**と操作するたびに、選択() / 解除() が切り替わります。

本機内のデータを暗号化する

ロック・セキュリティ画面で**暗号化と認証情報**  **端末の暗号化**  **次へ**  **ロックNo./パスワードを入力**  **暗号化**

- ロック解除方法が**なし**のときはロックNo./パスワードを入力する必要はありません。
- 電池を十分に充電した状態で、充電しながら操作してください。
- 暗号化が中断された場合、本機内のデータがすべて削除されますので、ご注意ください。

SDカード内のデータを暗号化する

ロック・セキュリティ画面で**暗号化と認証情報**  **SDカードの暗号化**  **次へ**  **ロックNo./パスワードを入力**  **暗号化**

- 電池を十分に充電した状態で、充電しながら操作してください。
- あらかじめ、画面ロック解除用のロックNo./パスワードを設定しておいてください。
- SDカードの空き容量が不足していると、暗号化/暗号化解除を実行できません。
- 暗号化されたSDカード内のデータは、暗号化を実施した端末以外では利用できなくなります。
- 暗号化されたSDカードは、暗号化解除を行うことで通常のSDカードとして使用できるようになります。
- SDカードを暗号化した状態でオールリセットを行った場合、SDカード内のデータを利用できなくなりますのでご注意ください。オールリセットを行う前に、暗号化解除を行ってください。
- SDカードを暗号化した端末に、別のSDカードを取り付けた場合、そのSDカードに今後保存されるファイルが暗号化されます。
- SDカードの暗号化/暗号化解除には時間がかかる場合があります。暗号化を実行中は充電を中止しないでください。暗号化が中断された場合、SDカード内のデータが失われる可能性があります。

ストレージのタイプを確認する

ロック・セキュリティ画面の暗号化と認証情報 → ストレージのタイプ

安全な証明書とほかの認証情報へのアクセスをアプリに許可するかどうかを設定する

ロック・セキュリティ画面で暗号化と認証情報 → 信頼できる認証情報 → でシステム / ユーザーを選択 → 証明書を選択 → →  で確認画面の下部を表示 → 無効にする / 有効にする → はい

保存されているユーザー認証情報を設定する

ロック・セキュリティ画面で暗号化と認証情報 → ユーザー認証情報 → 画面に従って操作

暗号化された認証情報をインストールする

ロック・セキュリティ画面で暗号化と認証情報 → SDカードからインストール → 画面に従って操作

すべての認証情報を削除して認証情報ストレージのパスワードもリセットする

ロック・セキュリティ画面で暗号化と認証情報 → 認証ストレージの消去 → はい

信頼できるエージェントを管理する

ロック・セキュリティ画面で信頼できるエージェント → 画面に従って操作

- 画面ロック設定時に、使用できます。

特定のアプリだけを利用できるように制限する

ロック・セキュリティ画面で画面の固定 → 画面の固定 (表示)

- 画面固定を解除するときに端末をロックする → (表示) と操作すると、画面の固定を解除するときにロックNo./パスワードの入力が必要となるように設定できます。
- ロックNo.を設定しているときは、解除時にロックNo.の入力を求める → (表示) と操作すると、画面の固定を解除するときに、ロックNo.の入力が必要となるように設定できます。
- パスワードを設定しているときは、解除時にパスワードの入力を求める → (表示) と操作すると、画面の固定を解除するときに、パスワードの入力が必要となるように設定できます。
- 画面の固定を有効 (表示) にしたあと、固定したい画面を開いて (長押し) → アプリを選択 → (メニュー) → 画面の固定 → (開始) と操作すると画面固定を使用できます。
- 画面の固定を解除するには と を同時に長押しします。
- 確認画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

アプリの使用履歴データにアクセスできるアプリを設定する

ロック・セキュリティ画面で使用履歴にアクセスできるアプリ → 画面に従って操作

ロックとセキュリティ利用時のご注意

画面ロックについてのご注意

画面ロック解除に設定したロックNo./パスワードはメモに控えるなどして、お忘れにならないようご注意ください。お忘れになった場合は、最寄りのソフトバンクショップにて所定の手続きが必要となります。その際、お客様が登録/設定した内容が消失しますのでご了承ください。

端末の暗号化についてのご注意

本機を暗号化する際は、次の点にご注意ください。

- 端末の暗号化を解除するときは、「[リセットに関する設定](#)」を行う必要があります。
- 画面ロック解除方法をロックNo.に設定している場合、本機を起動するときに、ストレージ復号化のパスワード入力画面が表示されます。ロックNo.を入力してロックを解除してください。
- ストレージ復号化の際、ロックNo./パスワードの入力を10回および20回連続して間違えたときは、本機を再起動してから再度入力する必要があります。30回連続して間違えると、本機が初期化されますので、ご注意ください。
- 端末の暗号化後に画面ロック解除方法をロックNo./パスワードに変更すると、本機を起動するときにストレージ復号化のロックNo./パスワード入力画面を表示します。

無線・ネットワークに関する設定

↓ 無線・ネットワークに関する設定

無線・ネットワークに関する設定


機内モードなどネットワークに関する機能を設定できます。設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
Wi-Fi	Wi-Fi接続の設定をします。 詳しくは、「 Wi-Fiで接続する 」を参照してください。
Bluetooth®	Bluetooth®接続の設定をします。 詳しくは、「 Bluetooth®を利用可能にする 」を参照してください。
機内モード	電源を入れたまま、電波を発する機能をすべて無効に設定します。
モバイルネットワーク	アクセスポイントや通信方式の切り替えなどの設定をします。
データ使用量	モバイルデータやデータ通信量などに関する設定をします。 詳しくは、「 データ使用量を制限／警告する 」を参照してください。
データ通信制限	アプリごとにデータ通信を有効にするかどうかを設定をします。 詳しくは、「 アプリごとにデータ通信を制限する 」を参照してください。
VPN	VPNに関する機能を設定します。

1

■ → 設定 → 無線・ネットワーク




 無線・ネットワーク画面が表示されます。

2

各項目を設定



 設定が完了します。

+ ネットワーク設定時の操作

電源を入れたまま電波を使ったやりとりを停止するかどうかを設定する

無線・ネットワーク画面で**機内モード**




- **機内モード**と操作するたびに、選択()／解除()が切り替わります。

ネットワークモードを選択する

無線・ネットワーク画面で**モバイルネットワーク** → **4G/3G/GSM選択** → **4G/3G/GSM**
/4G/3G/3G/GSM/3G

アクセスポイントを追加する



無線・ネットワーク画面で**モバイルネットワーク** → **アクセスポイント名** →  (メニュー) → **新しいAPN** → 各項目を設定 →  (保存)


- 追加したアクセスポイントを利用するときは、追加したアクセスポイントを選択 →  を押します( 表示)。
- 追加したアクセスポイントを選択 →  (編集)を押すと、アクセスポイントを編集できます。

追加したアクセスポイントを削除し、お買い上げ時の状態に戻す

無線・ネットワーク画面で**モバイルネットワーク** → **アクセスポイント名** →  (メニュー) → **初期設定にリセット**

VPNの接続先を追加する

無線・ネットワーク画面で**VPN** →  (メニュー) → **プロフィール追加** → 内容を設定 →  (保存)

- VPNを利用するにはロックNo./パスワードの設定が必要です。
- 追加したVPNを選択 →  を押すと、接続/切断できます。

VPNプロフィールを編集する

無線・ネットワーク画面で**VPN** → VPNを選択 →  (メニュー) → **プロフィール編集** → 内容を設定 →  (保存)

VPNプロフィールを削除する

無線・ネットワーク画面で**VPN** → VPNを選択 →  (メニュー) → **プロフィール削除** → はい

データ通信に関する設定

モバイルデータ通信の使用量(1ヶ月単位)を確認したり、使用を制限したりすることができます。

データ使用量はあくまでも本機での記録です。実際のデータ利用明細とは異なることがあります。

- ↓ データ使用量を確認する
- ↓ モバイルデータ使用画面の見かた
- ↓ データ使用量を制限／警告する
- ↓ アプリごとにデータ通信を制限する


データ使用量を確認する

データの使用量を確認できます。

1

□ → 設定 → 無線・ネットワーク



 無線・ネットワーク画面が表示されます。

2

データ使用量



データ使用量画面が表示されます。

3

各項目を設定

設定が完了します。

- **モバイルデータ使用**と操作すると、モバイルデータ使用画面が、表示されます。

+ データ使用量利用時の操作

モバイルデータを有効にするかどうかを設定する


データ使用量画面で**モバイルデータ** → OK

- **モバイルデータ**と操作するたびに、選択() / 解除() が切り替わります。

データ使用量がリセットされる期間を設定する

データ使用量画面で**使用量の設定** → **使用期間の設定** → 日付を選択 → (設定)

モバイルデータ使用画面の見かた

 <p>1 11月2日～12月1日</p> <p>2 XX.XX MB 使用</p> <p>3 5.0 GB に制限</p> <p>4 2.0 GB 警告</p> <p>11月2日 12月2日</p> <p>端末で記録されるデータ使用量と携帯電話会社のデータ使用量は異なる場合があります</p>	<p>44 データ使用サイクル データ使用量確認のサイクルを表示 / サイクル表示のリセット日を設定¹</p> <p>45 データ通信制限ライン</p> <p>46 データ通信警告ライン</p> <p>47 データ使用量</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

12 データ使用サイクルは、毎月同じ日（お買い上げ時は初回起動時の前日）にリセットされます（リセット日を変更することもできます）。

+ アプリごとのデータ使用量を確認する
モバイルデータ使用画面でアプリ名を選択  


データ使用量を制限／警告する

あらかじめ、データ使用量の上限と警告位置を設定しておけば、使用中に上限に近づくと、警告や制限案内を表示させることができます。

1

  **設定**  **無線・ネットワーク**




 無線・ネットワーク画面が表示されます。


2

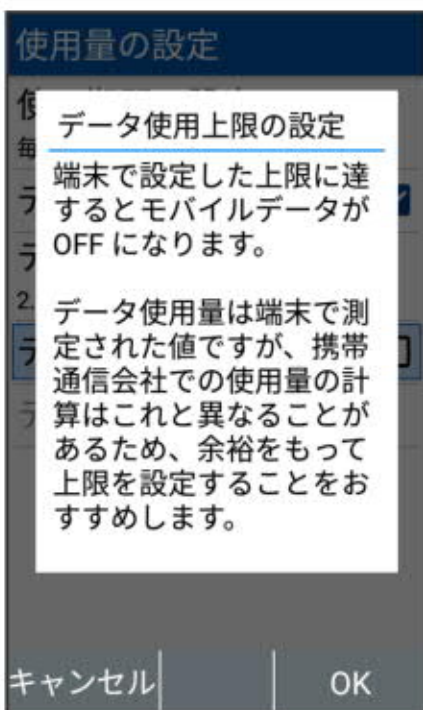
データ使用量




 データ使用量画面が表示されます。

3

使用量の設定 → データ上限の設定 (表示) →  (OK)




 データ通信制限ライン(橙色)が表示されます。

データ使用量を制限／警告利用時の操作

モバイルデータ通信量の上限を設定する

データ使用量画面で **使用量の設定**  **データ上限**  **使用量の上限を設定**   (設定)

- **データ上限の設定**が有効のときに設定できます。
- 使用中に上限に達したときは画面上部(ステータスバー)に  が表示され、上限になるとモバイルデータ通信を無効にした案内が表示されます。このときは、画面に従って操作してください。

警告を通知するモバイルデータ通信量を設定する

データ使用量画面で **使用量の設定**  **データ警告**  **警告を通知する使用量を設定**   (設定)

- 使用中に警告位置に達したときは画面上部(ステータスバー)に  が表示されます。

アプリごとにデータ通信を制限する

アプリごとにデータ通信を制限できます。

□ ➔ 設定 ➔ 無線・ネットワーク




無線・ネットワーク画面が表示されます。

2

データ通信制限




 データ通信制限画面が表示されます。



3

アプリを選択 →  (制限中 表示)



 選択したアプリのデータ通信が制限されます。

データ通信制限を解除する

データ通信制限画面でアプリを選択   (通信可表示)

- 確認画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

自動通信・同期に関する設定

↓ [自動通信・同期の設定を変更する](#)

自動通信・同期の設定を変更する

設定を変更することで、自動通信による通信量を抑制できます。

設定変更の方法は次のとおりです。

項目	詳細
位置情報	位置情報の利用を無効にします。詳しくは、「 位置情報に関する設定 」を参照してください。
自動同期・バックグラウンドデータの通信	アカウントに設定されている、アプリケーションやデータの自動同期を無効にします。詳しくは、「 アカウントに関する設定 」を参照してください。
海外での通信	海外でのご利用の際に、通信しないようデータローミングを無効にします。詳しくは、「 データローミングの設定を変更する 」を参照してください。

+ 自動通信・同期を無効にする

位置情報の取得を無効にする

- [設定](#) → [その他の設定](#) → [位置情報](#) → [位置情報の使用](#) (表示)
- [位置情報の使用](#)と操作するたびに、有効() / 無効()が切り替わります。
- 確認画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

自動同期・バックグラウンドデータの通信を無効にする

- [設定](#) → [その他の設定](#) → [アカウント](#) → [自動的にデータを同期](#) (表示)
- [自動的にデータを同期](#)と操作するたびに、有効() / 無効()が切り替わります。
- 確認画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

海外での通信でのパケット通信を無効にする

- [設定](#) → [無線・ネットワーク](#) → [モバイルネットワーク](#) → [データローミング](#) (表示)
- [データローミング](#)と操作するたびに、有効() / 無効()が切り替わります。
- 確認画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

電池に関する設定

- ↓ 電池の使用状況を確認する
- ↓ バッテリーケアモードを設定する
- ↓ バッテリーセーバーを利用する

電池の使用状況を確認する

バッテリーセーバーの設定や電池の使用状況を確認できます。

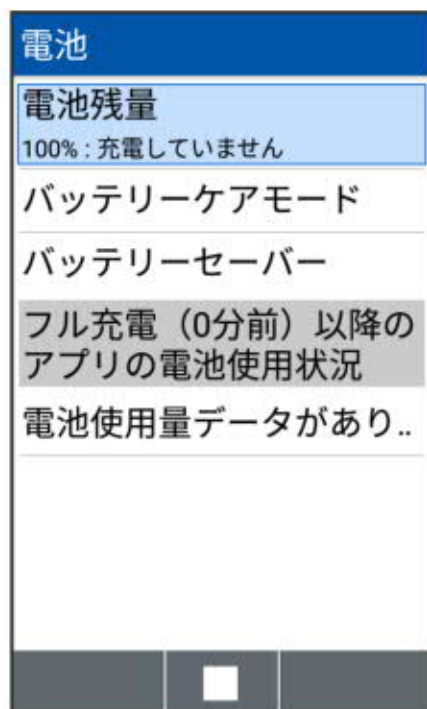
1


■ → 設定 → 電池




2

電池残量



 電池残量画面が表示されます。

-  と操作すると、**前回のフル充電以降の内訳**を確認できます。

バッテリーケアモードを設定する

電池寿命を延ばすために満充電しないように設定することができます。ONにすると充電が85%で止まります。

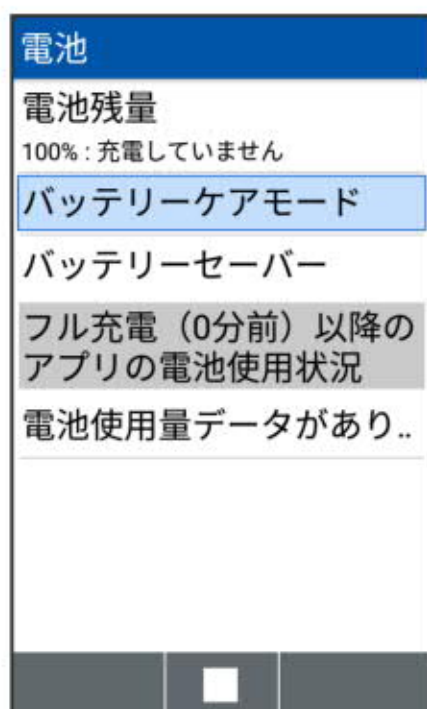
1


■  **設定**  **電池**



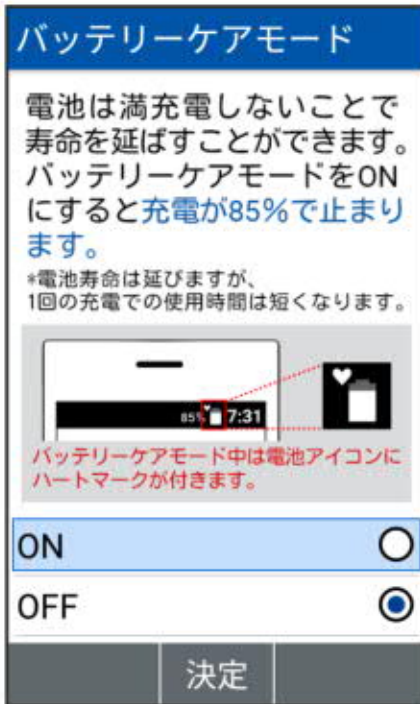
2


バッテリーケアモード



 バッテリーケアモード画面が表示されます。

ON(●表示)



 バッテリーケアモードが設定されます。

バッテリーセーバーを利用する

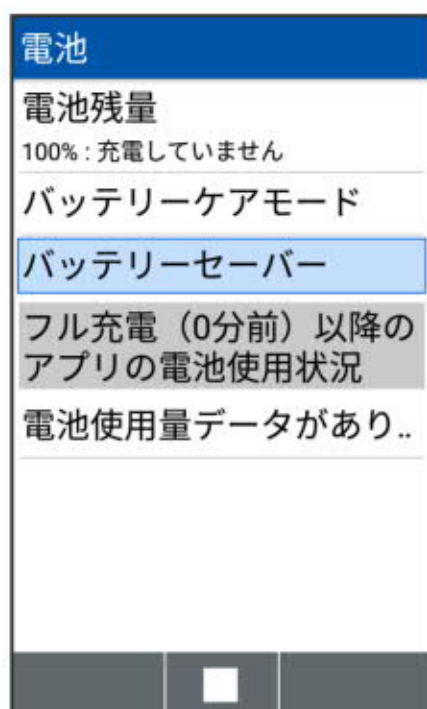
電池残量が少なくなったとき、電池の持ちをよくすることができます。


  設定  電池



2

バッテリーセーバー



 バッテリーセーバー画面が表示されます。


バッテリーセーバー(☑表示)



🚩 バッテリーセーバーが設定されます。

- **自動的にON**を設定すると、設定した電池残量になったときに、自動的にバッテリーセーバーをONにすることができます。

カスタマイズキーに関する設定

I / II / III への機能の割り当てや  を長押ししたときの動作を設定できます。


↓ [カスタマイズキーに関する設定](#)

カスタマイズキーに関する設定

1

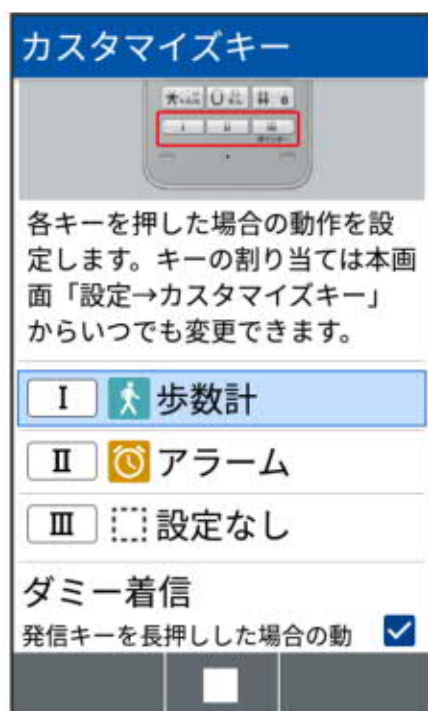
■ [設定](#) [カスタマイズキー](#)



 カスタマイズキー設定画面が表示されます。

2

各項目を設定



設定が完了します。

+ カスタマイズキー設定利用時の操作

I / II / III への機能の割り当てを設定する

カスタマイズキー画面で I / II / III 割り当てる機能を選択

(開始キー)を長押ししたときにダミー着信を起動するかどうかを設定する

カスタマイズキー画面で **ダミー着信**

- **ダミー着信**と操作するたびに、選択() / 解除()を切り替えます。

待受画面にカスタマイズキーに割り当てられている機能を表示するかどうかを設定する

カスタマイズキー画面で **待受画面表示**

- **待受画面表示**と操作するたびに、選択() / 解除()を切り替えます。

端末情報に関する設定

↓ 端末情報に関する設定

端末情報に関する設定

本機の状態を確認できます。

1

■ → 設定 → 端末情報



■ 端末情報画面が表示されます。

■ ソフトウェア更新について詳しくは、「[ソフトウェアを更新する](#)」を参照してください。

+ 端末情報利用時の操作



電池の状態や電話番号など、本機の状態を確認する
端末情報画面で**端末の状態**


法的情報を確認する

端末情報画面で**法的情報** → 項目を選択 → 

- 本機は、電波法ならびに電気通信事業法に基づく技術基準に適合しています。

開発者向けオプションを表示する

端末情報画面で**ビルド番号**を選択 → を7回押す →  → **その他の設定** → **開発者向けオプション**

 開発者向けオプション画面が表示されます。

その他の設定

- ↓ その他の設定
- ↓ USBに関する設定
- ↓ ポインターに関する設定
- ↓ ストレージに関する設定
- ↓ アプリに関する設定
- ↓ 位置情報に関する設定
- ↓ アカウントに関する設定
- ↓ 言語と入力に関する設定
- ↓ 日付と時刻に関する設定
- ↓ ユーザー補助に関する設定
- ↓ リセットに関する設定

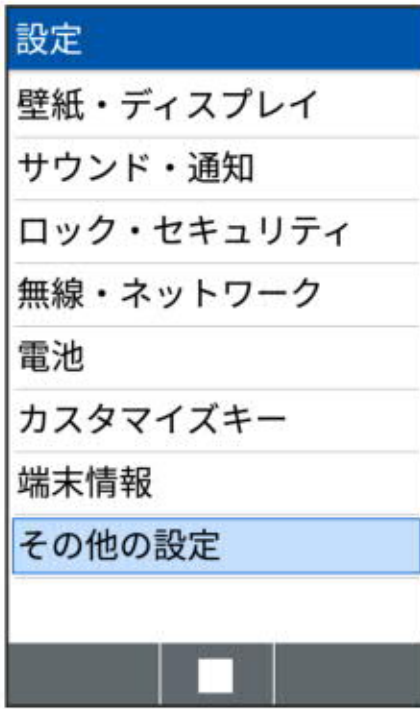
その他の設定

その他の機能のはたらきを設定できます。設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
USB	パソコンとUSB接続した際の動作を設定できます。
ポインター	ポインター起動確認表示のON/OFFの設定や、ポインターサイズの設定ができます。
ストレージ	本体メモリ/SDカードの容量の確認や、SDカードのマウント、SDカード内のデータを消去できます。
アプリ	インストールしたアプリや、実行中のアプリの情報を確認できます。
位置情報	位置情報の利用を設定できます。
アカウント	アカウントの追加ができます。また、追加したアカウントの同期について設定できます。
言語と入力	表示言語や文字入力などについて設定できます。
日付と時刻	日付や時刻に関する機能を設定できます。
ユーザー補助	字幕、拡大操作など、本機を使用するうえで便利なユーザー補助に関する機能を設定できます。
リセット オプション	各種設定のリセットや、すべてのデータの消去(初期状態にリセット)が行えます。

1

■ → 設定 → その他の設定




📄 その他の設定画面が表示されます。

2

各項目を設定

その他の設定	
USB	
ポインター	
ストレージ	
アプリ	
位置情報	
アカウント	
言語と入力	
日付と時刻	
ユーザー補助	

 設定が完了します。

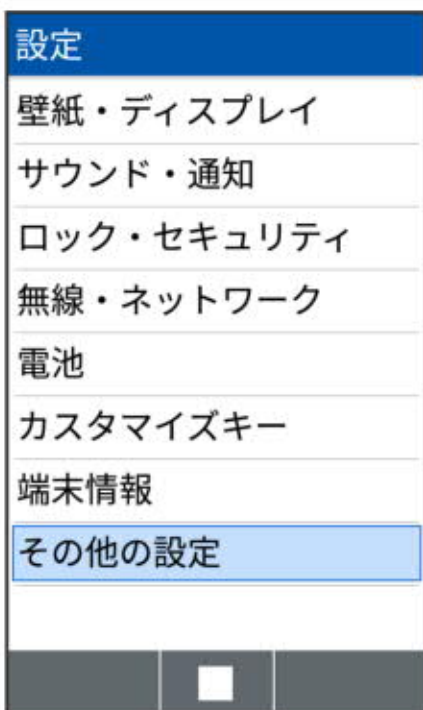
USBに関する設定


パソコンとUSB接続した際の動作を設定できます。

項目	説明
この端末を充電する	本機の充電をします。
ファイルを転送する	本機に保存されたファイルを転送します。
写真を転送する(PTP)	本機に保存された写真を転送します。

1

■  設定  その他の設定




 その他の設定画面が表示されます。

2

USB



 USB画面が表示されます。

3

充電／転送方法を設定




USB

この端末を充電する

ファイルを転送する

写真を転送する (PTP)

決定

 設定が完了します。

ポインターに関する設定

ポインターの設定について詳しくは「[ポインターの使いかた](#)」を参照してください。

ストレージに関する設定

本体メモリやSDカードのメモリ容量の確認や、SDカードのマウント／マウント解除、SDカード内のデータの消去などが行えます。設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
合計容量	本体メモリやSDカードの合計容量を確認します。
使用量	本体メモリやSDカードの使用量を確認します。

SDカードのアンマウント	SDカードのマウントを解除して安全に取り外せるようにします。
SDカードをマウント	SDカードをマウントし、SDカードが利用できるようにします。
SDカード内データを消去	SDカードをフォーマットします。 詳しくは、「 SDカードをフォーマットする 」を参照してください。

- SDカードの状態によって表示される項目は異なります。

1

■ → 設定 → その他の設定




🚩 その他の設定画面が表示されます。

2

ストレージ




 ストレージ画面が表示されます。

3

内部ストレージ / SDカード



 設定が完了します。

ストレージ利用時の操作

SDカードのマウントを解除する

ストレージ画面でSDカード   (アンマウント)  はい

SDカードをマウントする

ストレージ画面でSDカード   (マウント)  はい

SDカード内のデータを消去する

ストレージ画面でSDカード   (消去)  はい  消去してフォーマット  完了


アプリに関する設定

インストールしたアプリや、実行中のアプリの情報を確認できます。

1

  設定  その他の設定




 その他の設定画面が表示されます。




2


アプリ



 アプリ画面が表示されます。


3

アプリ情報  アプリを選択  

 アプリの詳細が表示されます。

4

各項目を設定

 設定が完了します。

+ アプリ利用時の操作

機能ごとに利用する機能を設定する

アプリ画面で**アプリの権限** → 機能名を選択 → → アプリ名を選択 →

■ アプリ名を選択するたびに、選択() / 解除()を切り替えます。

特別なアプリアクセスについて設定する

アプリ画面で**特別なアプリアクセス** → 機能名を選択 → 各項目を設定

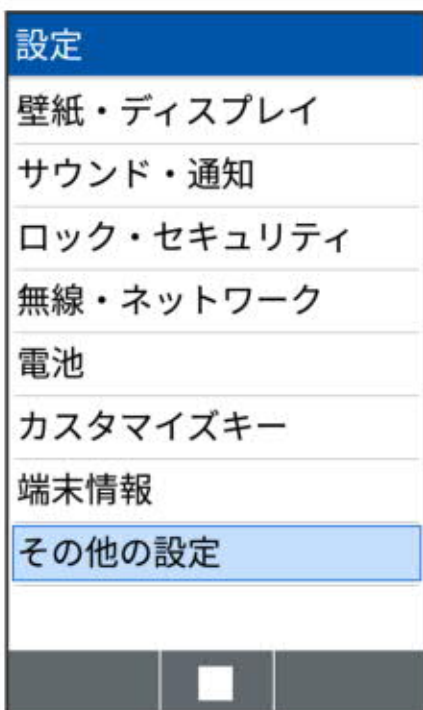
位置情報に関する設定


位置情報の利用を設定できます。

項目	説明
位置情報	位置情報の利用を設定します。
モード	位置情報を取得するときのモードを設定します。
アプリレベルの権限	位置情報の利用を許可するかどうかをアプリごとに設定します。
スキャン	位置情報の精度を上げるために、Wi-Fi、Bluetooth®機器を検出できるように設定します。
最近の位置情報リクエスト	位置情報をリクエストしたアプリが一覧で表示されます。

1

→ **設定** → **その他の設定**




 その他の設定画面が表示されます。

2

位置情報




 位置情報画面が表示されます。

3

位置情報の使用 (表示)





 設定が完了します。

- **位置情報の使用**と操作するたびに、選択()／解除()が切り替わります。
- 確認画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

位置情報利用時の操作

位置情報を取得する精度を変更する

位置情報画面で**モード**  位置情報のモードを選択 

- **位置情報の使用**がONのときに設定できます。

位置情報の利用を許可するかアプリごとに設定する

位置情報画面で**アプリレベルの権限**  アプリ名を選択 

- アプリ名を選択するたびに、選択()／解除()を切り替えます。

位置情報の精度を上げるためWi-Fi、Bluetooth®機器を検出できるように設定する

位置情報画面で**スキャン**  Wi-Fiのスキャン／Bluetoothのスキャン  (表示)

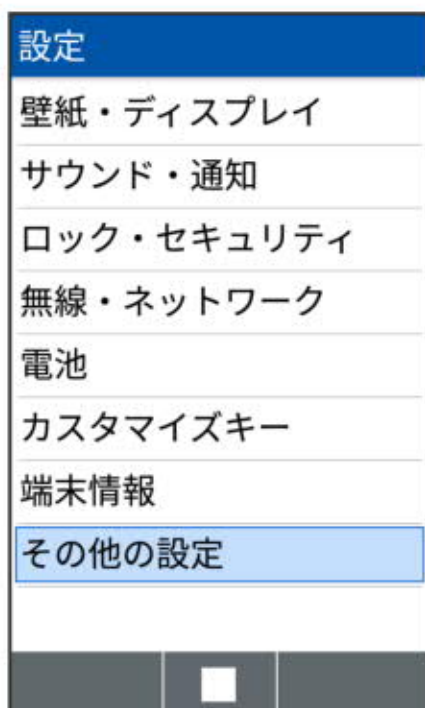
- Wi-Fiのスキャン / Bluetoothのスキャンを選択するたびに、選択(☑) / 解除(☐)を切り替えます。

アカウントに関する設定

アカウントの追加ができます。また、追加したアカウントの同期について設定できます。

1

- ➡ 設定 ➡ その他の設定



- その他の設定画面が表示されます。




2


アカウント



 アカウント画面が表示されます。


3


アカウントを追加  追加するアカウントの種類を選択   画面に従って操作

 アカウントの追加が完了します。

アカウント利用時の操作

アカウントごとにデータの自動同期設定を変更する




アカウント画面で自動的にデータを同期  はい

- 自動的にデータを同期  はいと操作するたびに選択 () / 解除 () が切り替わります。

アカウントを同期する

アカウント画面でアカウントの種類を選択   アカウントの同期   (メニュー)  今すぐ同期

アカウントを削除する

アカウント画面でアカウントの種類を選択   アカウントを削除  はい

アカウントの設定を変更する

アカウント画面でアカウントの種類を選択   アカウントの設定  画面に従って操作

言語と入力に関する設定

言語と文字入力に関する機能を設定できます。設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
言語(Language)	使用する言語を設定します。
すぐ文字	すぐ文字を有効にするかどうかを設定します。
iWnn IME	利用する入力方法を設定します。

1

■ ➡ 設定 ➡ その他の設定




🚩 その他の設定画面が表示されます。

2

言語と入力




 言語と入力画面が表示されます。

3



各項目を設定



 設定が完了します。

言語と入力利用時の操作

使用する言語を設定する

言語と入力画面で言語(Language)  日本語 / English  はい

■ 通話中は変更できません。

利用する入力方法を設定する

言語と入力画面でiWnn IME  入力方式  入力方法を選択 

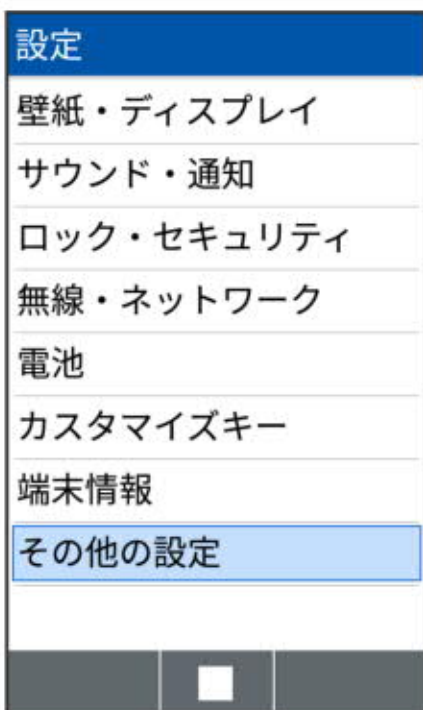
日付と時刻に関する設定


日付や時刻に関する機能を設定できます。設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
自動設定	ネットワークから提供された時刻を使用するかどうかを設定します。
自動タイムゾーン	ネットワークから提供されたタイムゾーンを利用するかどうかを設定します。
日付設定	日付を手動で設定します。
時刻設定	時刻を手動で設定します。
タイムゾーンの選択	タイムゾーンを手動で設定します。
24時間表示	時刻表示を24時間制にするかどうかを設定します。

1

 設定  その他の設定




 その他の設定画面が表示されます。

2

日付と時刻




 日付と時刻画面が表示されます。

3

各項目を設定



 設定が完了します。

+ 日付と時刻利用時の操作

ネットワークから提供された時刻を使用するかどうかを設定する

日付と時刻画面で**自動設定**

- **自動設定**と操作するたびに、選択()／解除()が切り替わります。

ネットワークから提供されたタイムゾーンを利用するかどうかを設定する

日付と時刻画面で**自動タイムゾーン**

- **自動タイムゾーン**と操作するたびに、選択()／解除()が切り替わります。

日付を手動で設定する

日付と時刻画面で**日付設定** → 日付を入力 →  (確定)

- **自動設定**が無効のときに設定できます。

時刻を手動で設定する

日付と時刻画面で**時刻設定** → 時刻を入力 →  (確定)

- **自動設定**が無効のときに設定できます。

タイムゾーンを手動で設定する

日付と時刻画面で**タイムゾーンの選択**  国／地域／都市名などを選択  

- **自動タイムゾーン**が無効のときに設定できます。

時刻表示を24時間制にするかどうかを設定する

日付と時刻画面で**24時間表示**

- **24時間表示**と操作するたびに、**選択**()／**解除**()が切り替わります。

ユーザー補助に関する設定

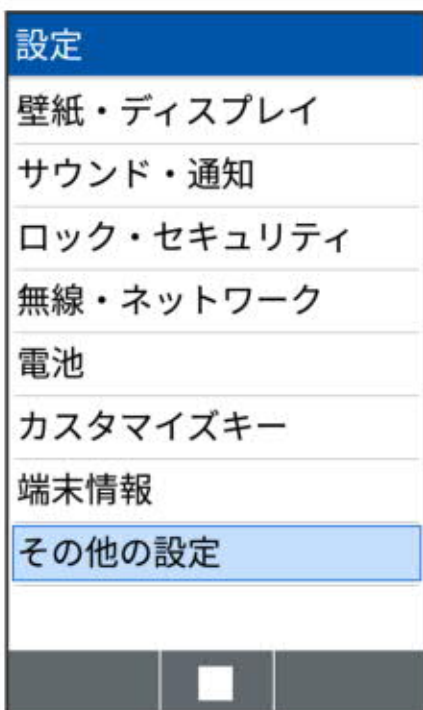
字幕など、本機を使用するうえで便利なユーザー補助に関する機能を設定できます。


項目	説明
色反転	ディスプレイの色を反転します。
色補正	色補正の詳細設定をします。
字幕 ¹	字幕表示について設定します。
高コントラストテキスト	文字のコントラストを上げ、見やすくします。

13 対応アプリの取得時のみ、設定できます。

1

  **設定**  **その他の設定**



 その他の設定画面が表示されます。

2

ユーザー補助



 ユーザー補助画面が表示されます。

3

各項目を設定



ユーザー補助


色反転

色補正
OFF

字幕
OFF

高コントラストテキ..

選択

 設定が完了します。

ユーザー補助利用時の操作



画面の色を反転するかどうかを設定する

ユーザー補助画面で色反転

- 色反転と操作するたびに、選択()／解除()が切り替わります。

画面の色を補正するかどうかを設定する

ユーザー補助画面で色補正  色補正

- 色補正と操作するたびに、選択()／解除()が切り替わります。
- 補正モード  補正モードを選択  と操作すると、色補正のモードを変更できます。

字幕を表示するように設定する

ユーザー補助画面で字幕  字幕(表示)

- 字幕の表示を解除するときは字幕  (解除)を押します(表示)。

字幕の表示方法を設定する

ユーザー補助画面で字幕 → 言語 / 文字サイズ / 字幕スタイル → 項目を選択 →

- 字幕がONのときに設定できます。

画面に表示される文字のコントラストを上げるかどうかを設定する

ユーザー補助画面で高コントラストテキスト

- 高コントラストテキストと操作するたびに、選択() / 解除()が切り替わります。

リセットに関する設定

各種設定のリセットや、すべてのデータの消去(初期状態にリセット)が行えます。

1

→ 設定 → その他の設定 → リセット オプション



 リセット オプション画面が表示されます。

2

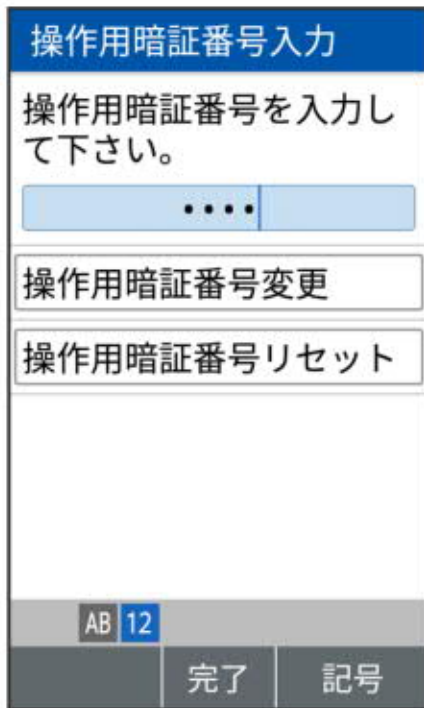
すべてのデータを消去(初期状態にリセット) → モバイル端末をリセット



- 取り付けているSDカード内のデータも消去するときは、SDカード内データを消去(☑表示)と操作します。

3


操作暗証番号を入力 → ■



4

すべて消去



 本機が再起動します。

+ リセット オプション利用時の操作

Wi-Fi、モバイルデータ、Bluetooth®のネットワーク設定をリセットする

リセット オプション画面でWi-Fi、モバイル、Bluetoothをリセット → 設定をリセット → 操作用
暗証番号を入力 → → 設定をリセット

アプリの設定をリセットする

リセット オプション画面でアプリの設定をリセット → はい

! すべてのデータを消去(初期状態にリセット)時のご注意

すべてのデータを消去(初期状態にリセット)すると、本体メモリのデータがすべて消去されます。必要なデータは事前にバックアップをとることをおすすめします。

- 消去された内容は元に戻せません。十分に確認したうえで操作してください。

ソフトウェアを更新する

↓ ソフトウェアの更新について

↓ 手動でソフトウェアを更新する

ソフトウェアの更新について

本機は、あらかじめ設定されている時刻にソフトウェアの更新が必要かどうかを確認し、必要な場合は自動的に更新するよう設定されています。

❗ ソフトウェア更新時のご注意

アプリケーションについて

新しいアプリケーションが追加／更新されたり、アプリケーションの名称やマーク、操作方法、画面表示などが変更されたりすることがあります。

- アプリケーションや機能を利用しているときは、ソフトウェア更新は行われません。

ソフトウェア更新中の操作について

更新が完了するまで、本機は使用できません。ソフトウェア更新には時間がかかることがあります。

- 手動でソフトウェアを更新することもできます。

データバックアップについて

本機の状況(故障・破損・水濡れなど)によっては、保存されているデータが破棄されることがあります。必要なデータは、ソフトウェア更新前にバックアップしておくことをおすすめします。なお、データが消失した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

手動でソフトウェアを更新する

電波状態の良い所で、移動せずに操作してください。また、電池残量が十分ある状態で操作してください。更新途中で電波状態が悪くなったり、電池残量がなくなったりすると、更新に失敗することがあります。

- 更新に失敗すると本機が使用できなくなることがあります。

■ → 設定 → 端末情報





2


ソフトウェア更新



 ソフトウェア更新画面が表示されます。


3

ソフトウェア更新  はい  画面に従って操作




 ソフトウェア更新が実行されます。

ソフトウェア更新時の操作

自動でソフトウェア更新をするかどうかを設定する

ソフトウェア更新画面で自動更新設定  (ON) / (OFF)

自動更新の開始時刻を変更する

ソフトウェア更新画面で更新時刻設定  時刻を選択   (確定)

トラブルシューティング



↓ 故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に

気になる症状の内容を確認しても症状が改善されない場合は、最寄りのソフトバンクショップまたは[お問い合わせ先](#)までご連絡ください。

? こんなときは

Q 電源が入らない

A  を長押ししていますか。ロゴが表示されるまで、 を押し続けてください。

A 充電はできていますか。充電ができていないときは、本機を充電してください。

A 本機の温度が高い状態で使用し続けて、電源が切れませんでしたか。本機の温度が下がったあと、電源を入れてください。

Q 電源が切れる／電源が入らない

A 内部温度の高い状態のまま使用し続けると、警告画面が表示されたあと、電源が切れま
す。この場合には、本機の内部温度を下げるため、すべてのアプリケーションを終了して
から、画面を消灯してください。

Q フリーズ／動作が不安定


A 本機が動作を停止したり入力を受け付けなくなったりしたときは、強制的に再起動する
ことができます。




 +  (10秒以上長押し)

Q 電話やメール、インターネットが利用できない

A 電波の弱い場所や圏外の場所にいないかご確認ください。

A 電源を入れ直してください。

A 機内モードに設定されていませんか。ステータスバーに  が表示されているときは、次の
操作で機内モードを解除してください。

 (長押し) →  (簡易設定) →  機内モード (□ 表示)

A **モバイルデータ**が無効になっていませんか。次の操作で**モバイルデータ**が有効となってい
ることを確認してください。

 →  設定 →  無線・ネットワーク →  データ使用量 →  モバイルデータ (☑ 表示)

A 無効なアクセスポイントが設定されていませんか。次の操作で初期設定に戻すことができ
ます。

Q 電池の消費が早い

- A** 電波の弱い場所や圏外の場所に長時間いませんか。電波の弱い状態で通話したり、圏外の場所にいたりすると、電池を多く消費します。
- A** 撮影ライト／簡易ライトを点灯する操作や、音を出す機能／操作、外部機器との通信などを頻繁に行ったり、ディスプレイを明るく設定したり、点灯時間を長く設定したりすると、本機の使用可能時間は短くなります。

Q 充電できない／充電に時間がかかる

- A** ACアダプタのUSB Type-Cプラグが本機にしっかりと差し込まれていますか。いったん取り外し、もう一度確実に差し込んでください。
- A** ACアダプタのプラグが、家庭用ACコンセントにしっかりと差し込まれていますか。いったん取り外し、もう一度確実に差し込んでください。
- A** 指定品以外のACアダプタなどを使っていませんか。必ず指定品を使用してください。指定品以外のものを利用すると、充電できないばかりか、電池パックを劣化させる原因となります。
- A** 着信／充電LEDが点滅していませんか。このときは、充電ができていません。指定品の充電器を使用して充電してください。
それでも充電ができない場合は、「[お問い合わせ先](#)」または「ソフトバンクショップ」へご相談ください。
- A** ACアダプタのUSB Type-Cプラグが汚れていませんか。端子部を乾いたきれいな綿棒などで清掃してから、充電し直してください。


Q 充電が止まる／充電が始まらない




- A** 本機の温度が高くなると、自動的に充電が停止します。本機の温度が下がると、充電を再開します。

Q USIMカードが認識されない

- A** USIMカードを正しく取り付けていますか。取り付け位置や、USIMカードの向きに問題はありませんか。ストッパーが正しくロックされていますか。電源を切り、USIMカードが正しく取り付けられているか確認したあと、電源を入れ直してください。それでも症状が改善されないときは、USIMカードが破損している可能性があります。
- A** USIMカードのIC(金属)部分に指紋などの汚れが付いていませんか。USIMカードを取り外し、乾いたきれいな布で汚れを落とすあと、正しく取り付けてください。
- A** 違うUSIMカードを取り付けていませんか。使用できないUSIMカードが取り付けられている可能性があります。正しいUSIMカードであることを確認してください。

Q 電話がかかけられない／繋がらない


A 機内モードに設定されていませんか。ステータスバーにが表示されているときは、次の操作で機内モードを解除してください。

 (長押し) →  (簡易設定) → 機内モード ( 表示)

A 相手の電話番号を全桁ダイヤルしていますか。市外局番など、「0」で始まる相手の電話番号を全桁ダイヤルしてください。

A 電波が届く場所にいますか。電波状態表示を確認しながら、電波の届く場所に移動してかけ直してください。

Q 電話の相手の声が聞こえない

A 通話音量が小さくなっていませんか。通話中にを押すと、通話音量を大きくすることができます。

文字入力用キー一覧(かな方式)

↓ ひらがな漢字[全角]

↓ 英数字[半角/全角]

↓ 数字[半角/全角]

↓ カタカナ[半角/全角]

ひらがな漢字[全角]

キー	入力
1 あ . <small>あ</small>	あいうえおあいうえお
2 か ABC	かきくけこ
3 さ DEF	さしすせそ
4 た GHI	たちつてとっ
5 な JKL	なにぬねの
6 は MNO	はひふへほ
7 ま PQRS	まみむめも
8 や TUV	やゆよやゆよ
9 ら WXYZ	らりるれろ
0 わ せん	わをんわー~□[スペース]
* +A/B	.. [改行] 大文字/小文字切り替え
# 0	、。?!・□[スペース]

英数字[半角/全角]

キー	入力
1 あ . <small>あ</small>	. @, / _ : — ~ 1
2 か ABC	abcABC2
3 さ DEF	defDEF3
4 た GHI	ghiGHI4
5 な JKL	jklJKL5
6 は MNO	mnoMNO6

7 ま PQRS	pqrsPQRS7
8 や TUV	tuvTUV8
9 ら WXYZ	wxyzWXYZ9
0 わ せん	.. -□(スペース)!"#\$%&'()*+/,;=>?@「¥」^_`{ }~0
* + A/B	[改行] 大文字／小文字切り替え
# ` 0	.. ? ! ' - & () ¥ □ (スペース)

数字[半角／全角]

キー	入力
1 あ .0	1
2 か ABC	2
3 さ DEF	3
4 た GHI	4
5 な JKL	5
6 は MNO	6
7 ま PQRS	7
8 や TUV	8
9 ら WXYZ	9
0 わ せん	0
* + A/B	[改行]★
# ` 0	. #

カタカナ[半角／全角]

キー	入力
1 あ .0	アイウエオアイウエオ
2 か ABC	カキクケコ
3 さ DEF	サシスセソ
4 た GHI	タチツテトツ
5 な JKL	ナニヌネノ
6 は MNO	ハヒフヘホ
7 ま PQRS	マミムメモ
8 や TUV	ヤユヨヤユヨ
9 ら WXYZ	ラリルレロ

0 <small>わ せん</small> 1	ワロンワー～□[スペース]
✕ <small>++ +A/B</small>	*。 〔改行〕 大文字／小文字切り替え
# <small>・ 。</small>	、。?!・□[スペース]

14 文字種が「半角カタカナ」の場合は、「ワ」は入力できません。

文字入力用キー一覧(2タッチ方式)

↓ ひらがな漢字[全角]

↓ カタカナ[全角]

↓ 英数字[全角]

↓ カタカナ[半角]

↓ 英数字[半角]

ひらがな漢字[全角]

入力モードが「漢」の場合に入力できる文字の一覧です。

キー	入力
1 あ .@ 1 あ .@	あ／あ ¹
1 あ .@ 2 か ABC	い／い ¹
1 あ .@ 3 さ DEF	う／う ¹
1 あ .@ 4 た GHI	え／え ¹
1 あ .@ 5 な JKL	お／お ¹
2 か ABC 1 あ .@	か
2 か ABC 2 か ABC	き
2 か ABC 3 さ DEF	く
2 か ABC 4 た GHI	け
2 か ABC 5 な JKL	こ
3 さ DEF 1 あ .@	さ
3 さ DEF 2 か ABC	し
3 さ DEF 3 さ DEF	す
3 さ DEF 4 た GHI	せ
3 さ DEF 5 な JKL	そ
4 た GHI 1 あ .@	た
4 た GHI 2 か ABC	ち
4 た GHI 3 さ DEF	つ／つ ²
4 た GHI 4 た GHI	て
4 た GHI 5 な JKL	と
5 な JKL 1 あ .@	な
5 な JKL 2 か ABC	に

5 JKL	3 DEF	ぬ
5 JKL	4 GHI	ね
5 JKL	5 JKL	の
6 MNO	1 あ .Ⓜ	は ³
6 MNO	2 か ABC	ひ ³
6 MNO	3 さ DEF	ふ ³
6 MNO	4 た GHI	へ ³
6 MNO	5 な JKL	ほ ³
7 PQRS	1 あ .Ⓜ	ま
7 PQRS	2 か ABC	み
7 PQRS	3 さ DEF	む
7 PQRS	4 た GHI	め
7 PQRS	5 な JKL	も
8 TUV	1 あ .Ⓜ	や/や ¹
8 TUV	2 か ABC	(
8 TUV	3 さ DEF	ゆ/ゆ ¹
8 TUV	4 た GHI)
8 TUV	5 な JKL	よ/よ ¹
9 WXYZ	1 あ .Ⓜ	ら
9 WXYZ	2 か ABC	り
9 WXYZ	3 さ DEF	る
9 WXYZ	4 た GHI	れ
9 WXYZ	5 な JKL	ろ
0 わ せん	1 あ .Ⓜ	わ/わ ¹
0 わ せん	2 か ABC	を
0 わ せん	3 さ DEF	ん
0 わ せん	4 た GHI	ゝ/ゝ ¹
0 わ せん	5 な JKL	ゞ/ゞ ¹

15 $\boxed{*_{+A/B}}$ を1回押すと切り替わります。

16 $\boxed{*_{+A/B}}$ を1回押すと切り替わり、 $\boxed{*_{+A/B}}$ を2回押すとゝ(濁点)が付加されます。

17 $\boxed{*_{+A/B}}$ を1回押すとゝ(濁点)が付加され、 $\boxed{*_{+A/B}}$ を2回押すとゞ(半濁点)が付加されます。

カタカナ[全角]

入力モードが「A」、「ア」の場合に入力できる文字の一覧です。

キー	入力	
1 あ .Ⓜ	1 あ .Ⓜ	ア/ア ¹

1 あ .@	2 か ABC	イ/イ ¹
1 あ .@	3 さ DEF	ウ/ウ ¹
1 あ .@	4 た GHI	エ/エ ¹
1 あ .@	5 な JKL	オ/オ ¹
2 か ABC	1 あ .@	カ
2 か ABC	2 か ABC	キ
2 か ABC	3 さ DEF	ク
2 か ABC	4 た GHI	ケ
2 か ABC	5 な JKL	コ
3 さ DEF	1 あ .@	サ
3 さ DEF	2 か ABC	シ
3 さ DEF	3 さ DEF	ス
3 さ DEF	4 た GHI	セ
3 さ DEF	5 な JKL	ソ
4 た GHI	1 あ .@	タ
4 た GHI	2 か ABC	チ
4 た GHI	3 さ DEF	ツ/ツ ²
4 た GHI	4 た GHI	テ
4 た GHI	5 な JKL	ト
5 な JKL	1 あ .@	ナ
5 な JKL	2 か ABC	ニ
5 な JKL	3 さ DEF	ヌ
5 な JKL	4 た GHI	ネ
5 な JKL	5 な JKL	ノ
6 は MNO	1 あ .@	ハ ³
6 は MNO	2 か ABC	ヒ ³
6 は MNO	3 さ DEF	フ ³
6 は MNO	4 た GHI	ヘ ³
6 は MNO	5 な JKL	ホ ³
7 ま PQRS	1 あ .@	マ
7 ま PQRS	2 か ABC	ミ
7 ま PQRS	3 さ DEF	ム
7 ま PQRS	4 た GHI	メ
7 ま PQRS	5 な JKL	モ
8 や TUV	1 あ .@	ヤ/ヤ ¹
8 や TUV	2 か ABC	(
8 や TUV	3 さ DEF	ユ/ユ ¹
8 や TUV	4 た GHI)

8 や TUV	5 な JKL	ヨ/ヨ ¹
9 ら WXYZ	1 あ . @	ラ
9 ら WXYZ	2 か ABC	リ
9 ら WXYZ	3 さ DEF	ル
9 ら WXYZ	4 た GHI	レ
9 ら WXYZ	5 な JKL	ロ
0 わ せん	1 あ . @	ワ
0 わ せん	2 か ABC	ヲ
0 わ せん	3 さ DEF	ン
0 わ せん	4 た GHI	ゝ /、 ¹
0 わ せん	5 な JKL	° /。 ¹

18 [*+A/B] を1回押すと切り替わります。

19 [*+A/B] を1回押すと切り替わり、 [*+A/B] を2回押すと` (濁点) が付加されます。

20 [*+A/B] を1回押すと` (濁点) が付加され、 [*+A/B] を2回押すと° (半濁点) が付加されます。

英数字[全角]

入力モードが「漢」、「A」、「ア」の場合に入力できる文字の一覧です。

キー	入力	
1 あ . @	6 は MNO	a/A ¹
1 あ . @	7 ま PQRS	b/B ¹
1 あ . @	8 や TUV	c/C ¹
1 あ . @	9 ら WXYZ	d/D ¹
1 あ . @	0 わ せん	e/E ¹
2 か ABC	6 は MNO	f/F ¹
2 か ABC	7 ま PQRS	g/G ¹
2 か ABC	8 や TUV	h/H ¹
2 か ABC	9 ら WXYZ	i/I ¹
2 か ABC	0 わ せん	j/J ¹
3 さ DEF	6 は MNO	k/K ¹
3 さ DEF	7 ま PQRS	l/L ¹
3 さ DEF	8 や TUV	m/M ¹
3 さ DEF	9 ら WXYZ	n/N ¹
3 さ DEF	0 わ せん	o/O ¹
4 た GHI	6 は MNO	p/P ¹
4 た GHI	7 ま PQRS	q/Q ¹
4 た GHI	8 や TUV	r/R ¹

4 た GHI	9 ら WXYZ	s/S ¹
4 た GHI	0 わ せん	t/T ¹
5 な JKL	6 は MNO	u/U ¹
5 な JKL	7 ま PQRS	v/V ¹
5 な JKL	8 や TUV	w/W ¹
5 な JKL	9 ら WXYZ	x/X ¹
5 な JKL	0 わ せん	y/Y ¹
6 は MNO	6 は MNO	z/Z ¹
6 は MNO	7 ま PQRS	?
6 は MNO	8 や TUV	!
6 は MNO	9 ら WXYZ	-
6 は MNO	0 わ せん	/
7 ま PQRS	6 は MNO	¥
7 ま PQRS	7 ま PQRS	&
7 ま PQRS	8 や TUV	🕒
7 ま PQRS	9 ら WXYZ	☎
7 ま PQRS	0 わ せん	☺
8 や TUV	6 は MNO	*
8 や TUV	7 ま PQRS	#
8 や TUV	8 や TUV	改行
8 や TUV	9 ら WXYZ	❤
8 や TUV	0 わ せん	(スペース)
9 ら WXYZ	6 は MNO	1
9 ら WXYZ	7 ま PQRS	2
9 ら WXYZ	8 や TUV	3
9 ら WXYZ	9 ら WXYZ	4
9 ら WXYZ	0 わ せん	5
0 わ せん	6 は MNO	6
0 わ せん	7 ま PQRS	7
0 わ せん	8 や TUV	8
0 わ せん	9 ら WXYZ	9
0 わ せん	0 わ せん	0

✳️🔄
+A/B) を1回押すと切り替わります。

カタカナ[半角]

入力モードが「アイ」、「AB」の場合に入力できる文字の一覧です。

キー		入力
1 あ . @	1 あ . @	ア/ア ¹
1 あ . @	2 か ABC	イ/イ ¹
1 あ . @	3 さ DEF	ウ/ウ ¹
1 あ . @	4 た GHI	エ/エ ¹
1 あ . @	5 な JKL	オ/オ ¹
2 か ABC	1 あ . @	カ
2 か ABC	2 か ABC	キ
2 か ABC	3 さ DEF	ク
2 か ABC	4 た GHI	ケ
2 か ABC	5 な JKL	コ
3 さ DEF	1 あ . @	サ
3 さ DEF	2 か ABC	シ
3 さ DEF	3 さ DEF	ス
3 さ DEF	4 た GHI	セ
3 さ DEF	5 な JKL	ソ
4 た GHI	1 あ . @	タ
4 た GHI	2 か ABC	チ
4 た GHI	3 さ DEF	ツ/ツ ²
4 た GHI	4 た GHI	テ
4 た GHI	5 な JKL	ト
5 な JKL	1 あ . @	ナ
5 な JKL	2 か ABC	ニ
5 な JKL	3 さ DEF	ヌ
5 な JKL	4 た GHI	ネ
5 な JKL	5 な JKL	ノ
6 は MNO	1 あ . @	ハ ³
6 は MNO	2 か ABC	ヒ ³
6 は MNO	3 さ DEF	フ ³
6 は MNO	4 た GHI	ヘ ³
6 は MNO	5 な JKL	ホ ³
7 ま PQRS	1 あ . @	マ
7 ま PQRS	2 か ABC	ミ
7 ま PQRS	3 さ DEF	ム
7 ま PQRS	4 た GHI	メ
7 ま PQRS	5 な JKL	モ
8 や TUV	1 あ . @	ヤ/ヤ ¹
8 や TUV	2 か ABC	(

8 や TUV	3 さ DEF	ユ/γ ¹
8 や TUV	4 た GHI)
8 や TUV	5 な JKL	ヨ/yo ¹
9 ら WXYZ	1 あ . @	ラ/@ ¹
9 ら WXYZ	2 か ABC	リ/l ¹
9 ら WXYZ	3 さ DEF	ル/_ ¹
9 ら WXYZ	4 た GHI	レ/_ ¹
9 ら WXYZ	5 な JKL	ロ/: ¹
0 わ せん	1 あ . @	ワ/~ ¹
0 わ せん	2 か ABC	ヲ/' ¹
0 わ せん	3 さ DEF	ン
0 わ せん	4 た GHI	ゝ/, ¹
0 わ せん	5 な JKL	° /。 ¹

21 $\boxed{*_{+A/B}}$ を1回押すと切り替わります。

22 $\boxed{*_{+A/B}}$ を1回押すと切り替わり、 $\boxed{*_{+A/B}}$ を2回押すと` (濁点)が付加されます。

23 $\boxed{*_{+A/B}}$ を1回押すと` (濁点)が付加され、 $\boxed{*_{+A/B}}$ を2回押すと° (半濁点)が付加されます。

英数字[半角]

入力モードが「アイ」、「AB」の場合に入力できる文字の一覧です。

キー	入力	
1 あ . @	6 は MNO	a/A ¹
1 あ . @	7 ま PQRS	b/B ¹
1 あ . @	8 や TUV	c/C ¹
1 あ . @	9 ら WXYZ	d/D ¹
1 あ . @	0 わ せん	e/E ¹
2 か ABC	6 は MNO	f/F ¹
2 か ABC	7 ま PQRS	g/G ¹
2 か ABC	8 や TUV	h/H ¹
2 か ABC	9 ら WXYZ	i/I ¹
2 か ABC	0 わ せん	j/J ¹
3 さ DEF	6 は MNO	k/K ¹
3 さ DEF	7 ま PQRS	l/L ¹
3 さ DEF	8 や TUV	m/M ¹
3 さ DEF	9 ら WXYZ	n/N ¹
3 さ DEF	0 わ せん	o/O ¹
4 た GHI	6 は MNO	p/P ¹

4 た GHI	7 ま PQRS	q/Q ¹
4 た GHI	8 や TUV	r/R ¹
4 た GHI	9 ら WXYZ	s/S ¹
4 た GHI	0 わ せん	t/T ¹
5 な JKL	6 は MNO	u/U ¹
5 な JKL	7 ま PQRS	v/V ¹
5 な JKL	8 や TUV	w/W ¹
5 な JKL	9 ら WXYZ	x/X ¹
5 な JKL	0 わ せん	y/Y ¹
6 は MNO	6 は MNO	z/Z ¹
6 は MNO	7 ま PQRS	?
6 は MNO	8 や TUV	!
6 は MNO	9 ら WXYZ	-
6 は MNO	0 わ せん	/
7 ま PQRS	6 は MNO	¥
7 ま PQRS	7 ま PQRS	&
7 ま PQRS	8 や TUV	—
7 ま PQRS	9 ら WXYZ	—
7 ま PQRS	0 わ せん	—
8 や TUV	6 は MNO	*
8 や TUV	7 ま PQRS	#
8 や TUV	8 や TUV	改行
8 や TUV	9 ら WXYZ	(スペース)
8 や TUV	0 わ せん	(スペース)
9 ら WXYZ	6 は MNO	1/.ne.jp ¹
9 ら WXYZ	7 ま PQRS	2/.co.jp ¹
9 ら WXYZ	8 や TUV	3/.ac.jp ¹
9 ら WXYZ	9 ら WXYZ	4/@softbank.ne.jp ¹
9 ら WXYZ	0 わ せん	5
0 わ せん	6 は MNO	6/www. ¹
0 わ せん	7 ま PQRS	7/.com ¹
0 わ せん	8 や TUV	8/.html ¹
0 わ せん	9 ら WXYZ	9/http:// ¹
0 わ せん	0 わ せん	0/https:// ¹

* ** 回
+ A/B を1回押すと切り替わります。

仕様

- ↓ 本体
- ↓ 電池パック
- ↓ ACアダプタ

本体(TBD)

本機の仕様は次のとおりです。

項目	説明
質量	本体:約●●●g 電池パック装着時:約●●●g
連続通話時間 ¹	約●●●分(4G LTE) 約●●●分(3G) 約●●●分(GSM)
連続待受時間 ²	約●●●時間(4G LTE) 約●●●時間(3G) 約●●●時間(GSM) (クローズポジション時)
充電時間(本機の電源を切って充電した場合)	ACアダプタ:約●●●分
サイズ(幅×高さ×奥行)	約●●×●●●×●●●mm (クローズポジション時、突起部除く)
最大出力	4G(LTE:FDD-LTE網):●.●W 3G:●.●●W GSM(900MHz):●W GSM(1800MHz,1900MHz):●W

24 連続通話時間とは、電池の充電を満たし、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。

25 連続待受時間とは、電池の充電を満たし、通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。データ通信/緊急速報メールを無効に設定したときの数値です。また使用環境(充電状況、気温など)や機能の設定状況などにより、ご利用時間が変動することがあります。



仕様について

お使いの場所や状況、設定内容によって、表内の時間は変動します。

液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する

画素がある場合がありますので、あらかじめご了承ください。

電池パック(TBD)

項目	説明
電圧	●.●V
使用電池	リチウムイオン電池
容量	●●●●mAh
外形寸法(幅×高さ×厚さ)	約●●.●×●●.●×●.●mm(突起部除く)

ACアダプタ(TBD)

項目	説明
入力	AC●●●●V-●●●●V ●.●A ●●-●●VA ●●-●●Hz
出力	DC ●.●V ●.●A
充電温度範囲	●°C~●●°C ¹
寸法(幅×高さ×奥行き)	約●●×●●×●●mm(突起部、コードを除く)

26 ご使用状況によっては携帯電話が温かくなることで、充電を停止することがあります。

本製品の比吸収率(SAR)について

本項目における **■** とは、本機 EB1134 を示しています。

↓ 本製品の比吸収率(SAR)について

↓ 米国連邦通信委員会(FCC)の電波ばく露の影響に関する情報

本製品の比吸収率(SAR)について

この機種 **■** の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および国際ガイドラインに適合しています。

電波の人体吸収に関する国の技術基準^{※1}は、人体の近くで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)について、2W/kgの許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分に安全な値として設定されており、世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が示した国際的なガイドラインにおける値と同じ値です。

本携帯電話機 **■** の頭部におけるSARの最大値は●●●●W/kg^{※2}であり、また下記の方法^{※3}により身体に装着した場合のSARの最大値は●●●●W/kg^{※2}です。これらは、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満たしています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)に規定されています。

※2 <携帯電話サービス>と同時に使用可能な無線機能を含みます。

※3 頭部以外の位置におけるご使用方法

この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用になるなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにすることで、この携帯電話機は電波の人体吸収に関する国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合します。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離

して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記のウェブサイトをご参照ください。

総務省のウェブサイト

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のウェブサイト

<http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

世界保健機関(英文のみ)

<http://www.who.int/emf>

SoftBank スマートフォン各機種種の電波比吸収率(SAR)一覧はこちら

<https://www.softbank.jp/mobile/support/sar/>

米国連邦通信委員会(FCC)の電波ばく露の影響に関する情報

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。

携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)という単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6W/kgとなっています。

測定試験は機種ごとにFCCが定めた位置で実施され、本携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は●●●W/kg、下記のとおりに従って身体に装着した場合のSARの最大値は●●●W/kgです。

身体装着の場合:この携帯電話機[]では、一般的な携帯電話の装着法として身体から1.0センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.0センチの距離に携帯電話を固定できる装身具を使用し、ベルトクリップやホルスターなどには金属部品の含まれていないものを選んでください。

上記の条件に該当しない装身具は、FCCの定めるSAR許容値を満たさない場合もあるので使用を避けてください。

比吸収率(SAR)に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい場合は下記のウェブサイトを参照してください。

FCC Radio Frequency Safety (英文のみ)

<https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0>

General Notes

■■■■ here refers to this mobile phone EB1134.



[FCC RF Exposure Information](#)

[FCC Notice](#)

[FCC Compliance Information](#)

Specific Absorption Rate (SAR) for This Product (for Japan)

This mobile phone ■■■■ meets Japanese technical regulations* and international guidelines for exposure to radio waves.

The Japanese technical regulations for exposure to radio frequency energy established permitted levels of radio frequency energy, based on standards developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The regulations employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit is 2 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue.

The limit includes a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The value of the limit is equal to the value given in international guidelines recommended by ICNIRP**, which is in collaboration with the World Health Organization (WHO).

The highest SAR value for this mobile phone is ●●●● W/kg*** when tested for use at the ear, and ●●●● W/kg*** when worn on the body in the below manner****.

While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, all phones meet the Japanese technical regulations.

Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR of the phone during operation can be well below the maximum value.

* The technical regulations are provided in Article 14-2 of the Ministry Ordinance Regulating Radio Equipment.

** International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection

*** The value is under simultaneous transmission use conditions.

**** Use at positions other than at the ear

This mobile phone may be used at positions other than at the ear. By using an accessory such as a belt clip holster that maintains a 1.5 cm separation with no metal (parts) between it and the body and the mobile phone, this mobile phone will comply with international guidelines for radio wave protection.

The World Health Organization has announced that "A large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use." They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head and body.

For more information about SAR, see the following websites:

Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC)

<http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/body/index.htm>

Association of Radio Industries and Businesses (ARIB)

<http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html> (Japanese)

World Health Organization

<http://www.who.int/emf>

List of Specific Absorption Rates (SAR) for radio waves by smartphone/3G model

<https://www.softbank.jp/mobile/support/sar/> (Japanese)

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organization through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g. at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model.

The highest SAR value for this model handset as reported to the FCC when tested for use at the ear is ●●●● W/kg, and when worn on the body in a holder or carry case, is ●●● W/kg.

Body-worn Operation; This device were tested for typical body-worn operations with the handset kept 1.0 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.0 cm separation distance between the user's body and the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its

assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided. The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of <http://www.fcc.gov/oet/ea/> after searching on FCC ID ●●●●●●●●.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at <https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0>.

FCC Notice

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Note:

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning

The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

FCC Compliance Information

The product is certified by Federal Communications Commission (FCC).

The FCC ID of this product is ●●●●●●●●●●.

Or you can check as follows.

How to check:

In standby,   Settings  About phone  Compliance information

保証とアフターサービス

↓ [保証について](#)

↓ [アフターサービスについて](#)

保証について

- 保証期間は、本製品を新規でお買い上げいただいた日より1年間です。
- 無料修理規定に基づき無料修理を行います。無料修理規定はソフトバンクのウェブサイトでご確認いただけます。
<https://cdn.softbank.jp/mobile/set/common/pdf/legal/spguide/common/warranty.pdf>
- 保証対象部分は本体とACアダプタです。ケーブル類等や試供品については無料修理保証の対象外となります。

注意

損害について

本製品の故障、または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

故障・修理について

故障または修理により、お客様が登録／設定した内容が消失／変化する場合がありますので、大切な電話帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に本機に登録したデータ（電話帳／画像／サウンドなど）や設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

分解・改造について

本製品を分解／改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。

アフターサービスについて

修理を依頼される場合、[お問い合わせ先](#)または最寄りのソフトバンクショップへご相談ください。その際、できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたし

ます。なお、補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は生産打ち切り後目安として6年です。ただし、修理部品の不足等により、期間内であっても有料修理をお受けできない場合がございます。

ご不明な点について

アフターサービスについてご不明な点は、最寄りのソフトバンクショップまたは[お問い合わせ先](#)までご連絡ください。

お問い合わせ先

お困りのときや、ご不明な点などございましたら、お気軽に次のお問い合わせ窓口までご連絡ください。

↓ My SoftBank

↓ チャットサポート

↓ 総合案内

My SoftBank

待ち時間0分で、いつでも簡単手続き可能です。利用料金／データ量の確認・プラン等各種変更ができます。

<https://u.softbank.jp/2HHEHkw>



チャットサポート

“チャットでチャチャッと”相談！各種変更も可能です！

<http://bit.ly/2MqDKf3>



総合案内

料金から各種サービスまで、ソフトバンクに関する総合案内窓口です。

- ソフトバンク携帯電話から157(通話料無料)
- 一般電話から ☎0800-919-0157(通話料無料)
- 受付時間：午前9時から午後8時まで(チャット／コール)

オンラインマニュアルについて

本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ↓ 本製品をお使いになる前に
- ↓ 記載内容について
- ↓ ディスプレイ表示、キー表示について
- ↓ その他の表記について

本製品をお使いになる前に

「クイックスタート」、「お願いとご注意」をご覧ください。
ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。

記載内容について

オンラインマニュアルでは、基本的にお買い上げ時の状態での操作方法を説明しています。
また、特にことわりがない限り、待受画面からのキー操作を中心に説明しています。
認証画面、選択画面、注意画面など、操作後に表示される画面を「確認画面」と表記しています。
操作説明は省略している場合があります。

ディスプレイ表示、キー表示について

オンラインマニュアルで記載しているディスプレイ表示は、実際の表示と異なる場合があります。オンラインマニュアルで記載しているキー表示は、説明用に簡略化しているため実際の表示とは異なります。

その他の表記について

オンラインマニュアルでは、本製品のことを「本機」と表記しています。
microSD™/microSDHC™カードは「SDカード」と表記しています。